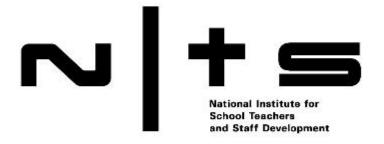
アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ

独立行政法人教職員支援機構 研修協力員/研修プロデューサー 稲岡 寛



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1. 新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト(秋田県)
- 2. 学校の重点とする資質・能力の育成に向けて カリキュラムのデザインを活用した 由利本荘市立西目小学校の取組
- 3. 学校の重点とする資質・能力の育成に向けて 小中連携を図る由利本荘市立西目小学校と 由利本荘市立西目中学校の取組

1. 新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト(秋田県)

1. 新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト (秋田県)

秋田県教育委員会 由利本荘市教育委員会 秋田県総合教育センター 秋田大学大学院



実践フィールド校

由利本荘市立西目小学校 由利本荘市立西目中学校





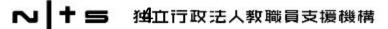


教職員支援機構 次世代教育推進センター

• 主体的・対話的で深い学びの 視点からの実践事例の収集・ 分析や指導方法の協働構築等



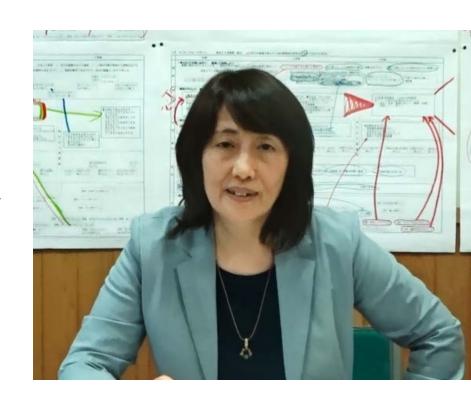
• 分析や協働構築等をもとに 教員の主体的・協働的な校内 研修プログラムモデル案の 提供等



2. 学校の重点とする資質・能力の育成に向けて カリキュラムのデザインを活用した 由利本荘市立西目小学校の取組

どうしてカリキュラム・マネジメント に取り組もうと考えたのですか?

教育課程全体を俯瞰してみるということ、カリキュラムのデザインを考えてみるということが、子供の学びを分析していくために有効だと考えている。



資質・能力は一度の授業で育成することは難しい・・・



期待する姿が、教科を超えて、学年を超えて、 積み重ねられることが資質・能力の育成には 効果的

カリキュラム・マネジメントの充実を図る 組織的・継続的な取組が有効であるとの共通認識



単元配列表を活用し、教育課程を中心に据えて子供の資質・能力を組織的・継続的に育む試み

カリキュラム・マネジメントの3つの側面

- ①教科横断的な視点で教育内容を 組織的に配列していくこと
- ②子供や地域の現状に合わせて教育課程を改善し続けること
- ③教育内容と人的・物的資源等 を効果的に組み合わせること

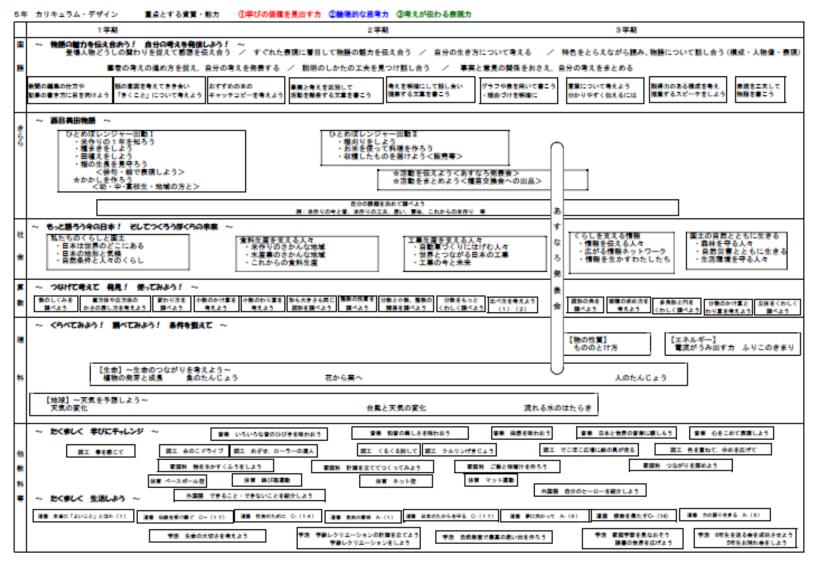
学 好校 循教 環育 をの 生 改 み善 出充 す実

第3学年

単元配列表

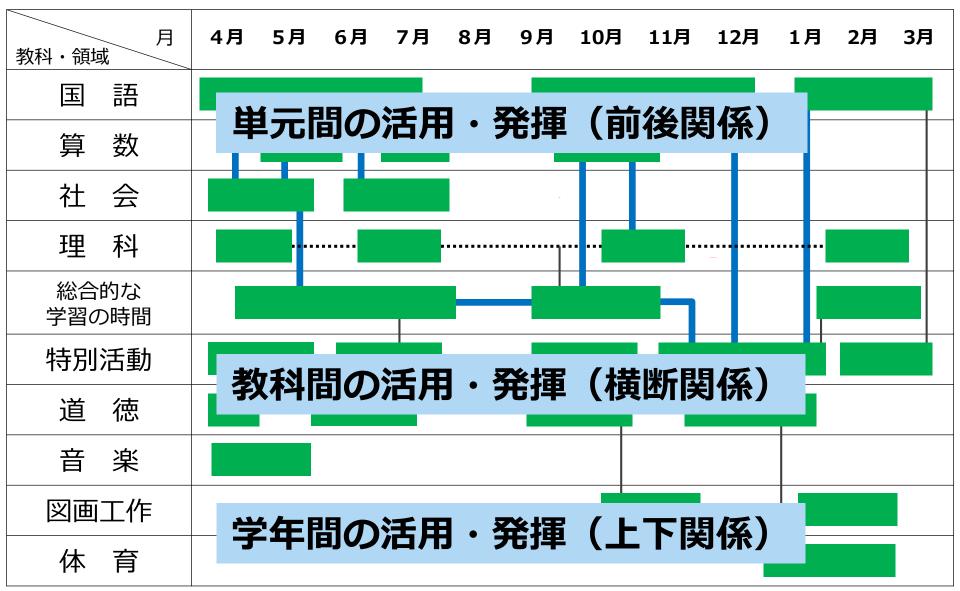
| 月 教科・領域 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 国 語 | | | | | | | | | | | | |
| 算数 | | | | | | | | | | | | |
| 社 会 | | | | | | - | | | | | | |
| 理科 | | | | | | | | | _ | | | |
| 総合的な 学習の時間 | | | | | | | | | | | | |
| 特別活動 | | | | | | | | | | | | |
| 道徳 | | | | | | | | | | | | |
| 音楽 | | | | | | | | | | | | |
| 図画工作 | | | | | | | | | | | | |
| 体 育 | | | | | | | | | | | | |

カリキュラムのデザイン



単元配列表

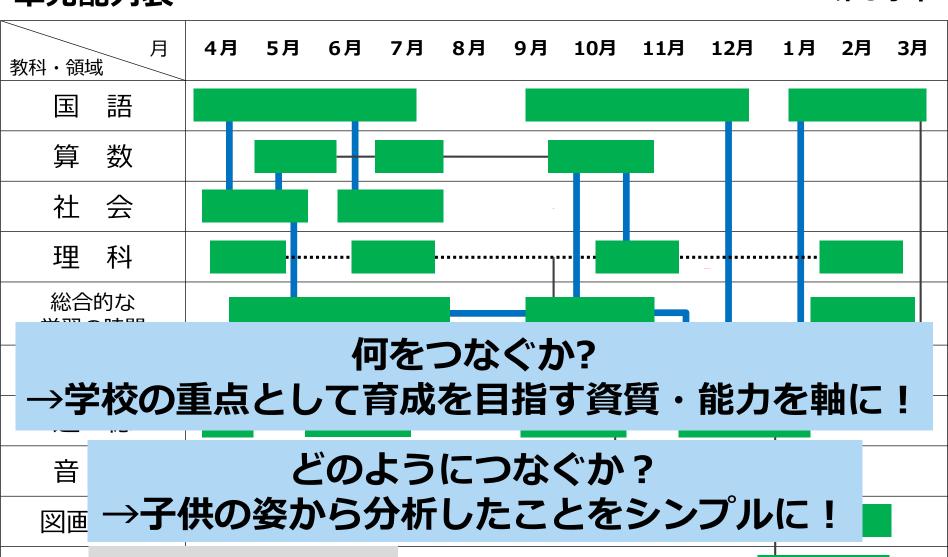
第3学年



単元配列表

体

第3学年





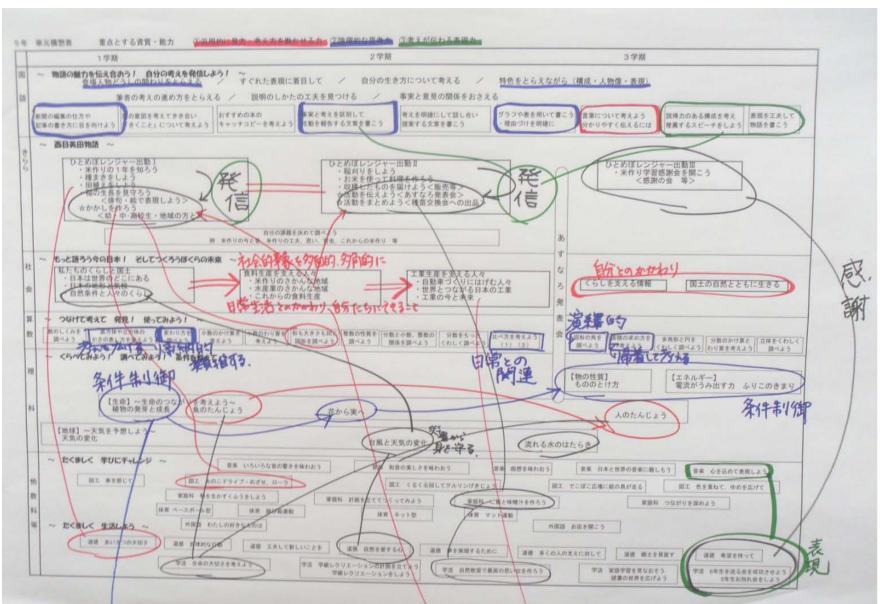
新学習指導要領 総則

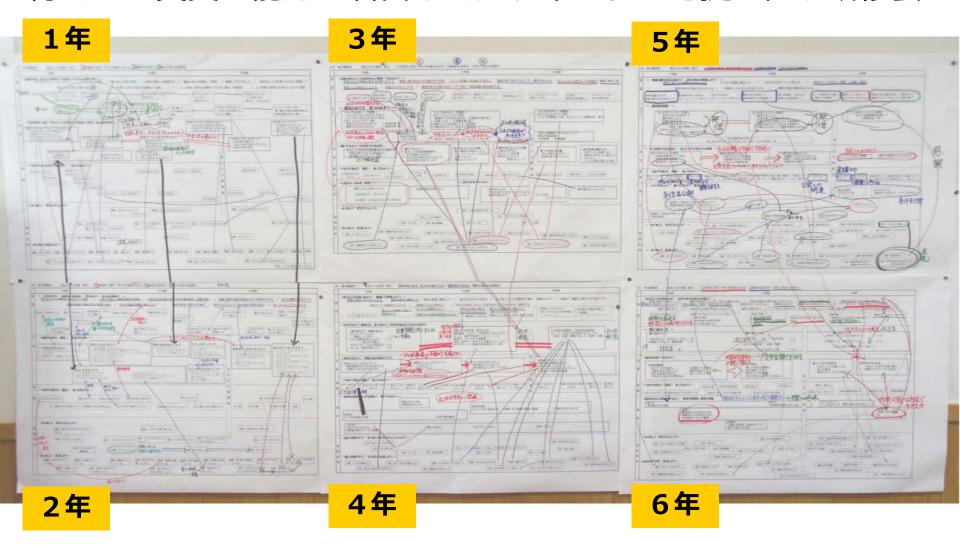
- 2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成
- (1) 各学校においては、

児童生徒の発達の段階を考慮し、**言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)問題題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力**を育成していくことができるよう、**各教科等の特質を生かし**、<u>教科等</u>横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

(2) 各学校においては、

児童生徒や学校、地域の実態及び児童生徒の発達の段階を考慮し、 豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向 けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断 的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育 課程の編成を図るものとする。





教科型指導の改善による21世紀型の資質・能力の育成

- ○育成を目指す資質・能力の三つの柱
 - (1)知識及び技能が習得されるようにする。
 - (2) 思考力、判断力、表現力等を育成する。
 - (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養する。
- ○21世紀型の資質・能力の育成は、一つの教科等をもって単独 で迫れるものではなく、教育課程を構成する全ての教科等が、 それぞれの役割を果たし、そして連携と横断を生み出すこと によって、成果を得るに至る。
- ○教科横断的な視点をもって、教育内容を組織的に配列していくカリキュラム・マネジメントが強調されたのも、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善と密接に関わりがある。

資質・能力を育むためのカリキュラムのデザインを活用してみてよかったと感じることは何ですか?

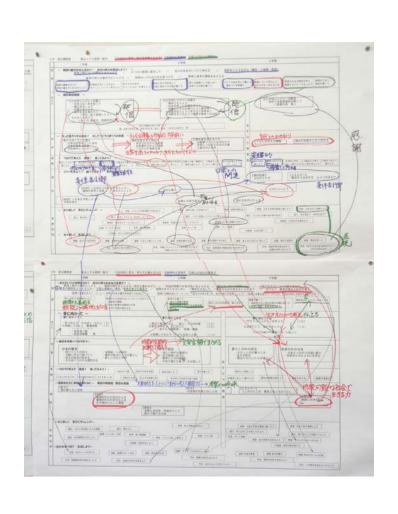
カリキュラムを 俯瞰して捉えた中での1時間 としてみる視点の重要性

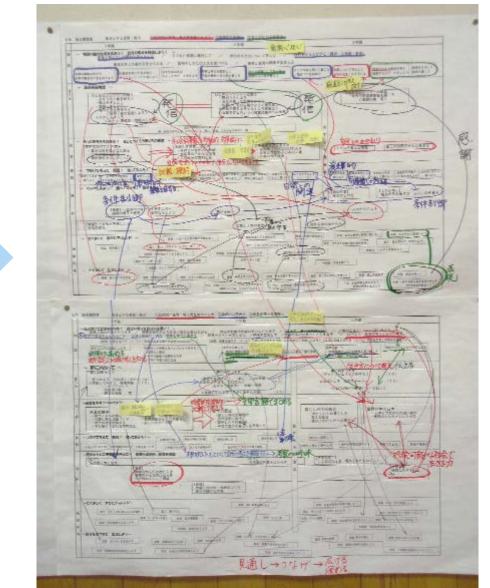


資質・能力を育むカリキュラムのデザインを進めていくにあたり、 さらに効果的な取組にするために何が必要だと考えていますか?

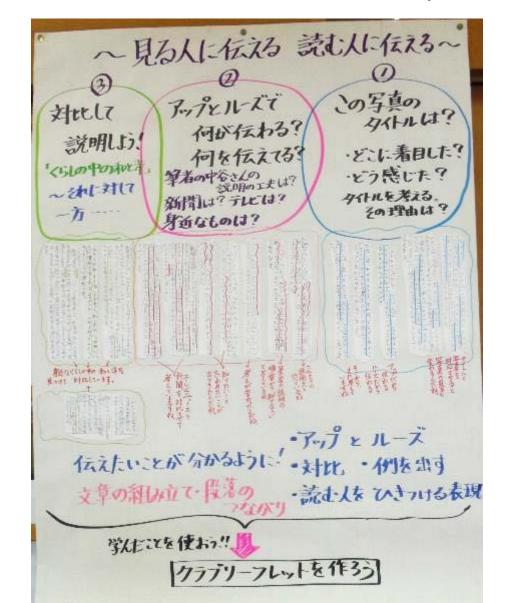
カリキュラムのデザインを作成しておわりにしないことが重要。いろいろな先生方と機会を捉えて、日常的に子供の姿の分析を通して修整しながら取り組んでいきたい。



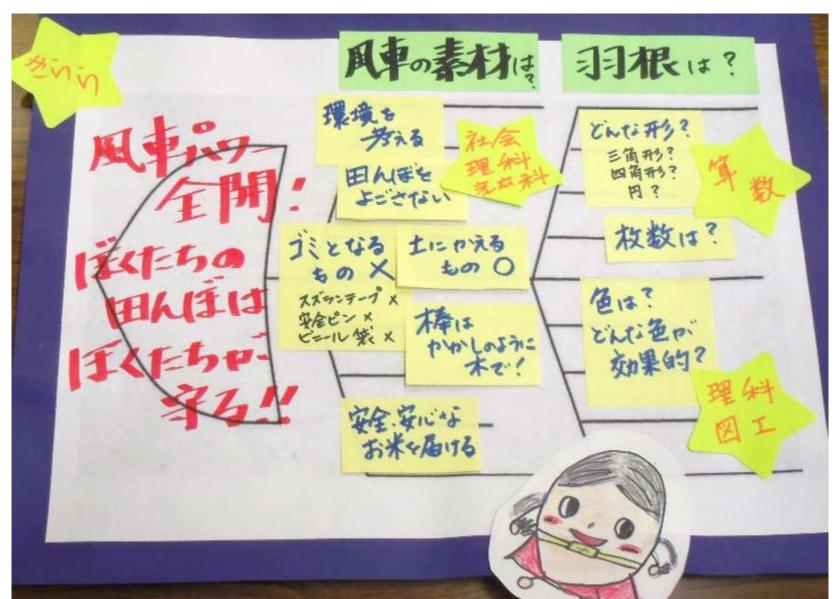




カリキュラムのデザインを生かした単元デザイン



カリキュラムのデザインを生かした単元デザイン







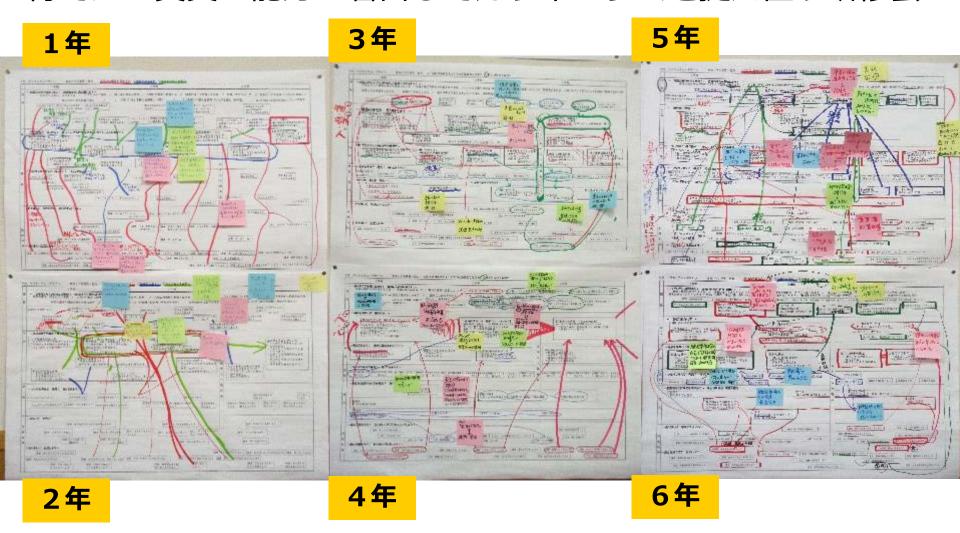












カリキュラムのデザインを活用した授業改善に 取り組んでみてどうですか?

カリキュラムのデザインを活用 した授業改善は、取り組んでみ ると思ったより簡単だと感じて いる。職員の異動があっても続 けることができているので、継 続性についても手応えを感じて いる。



教育活動と一体的に行う研究・研修の充実



日常の教育課程の実施と研究を一体的に展開 →教師が学び合い、力量を高め 子供の資質・能力の育成につながる 3. 学校の重点とする資質・能力の育成に向けて 小中連携を図る由利本荘市立西目小学校と 由利本荘市立西目中学校の取組

学校で重点とする資質・能力の育成に向けて小・中学校が連携し、協議・実践を積み重ねている。



新たな校種間連携の在り方への示唆

育てたい資質・能力に着目した小中合同の授業研究会



資質・能力を育むための小中連携に取り組んでみて 感じていることは何ですか?

小学校で育ててこられた力を さらに伸ばすために、教科の ねらいも達成しつつ、教科の 枠を超えて社会に出ても活用 できる力を育てていきたい。



校種を超えて互いの取組から学び合い、 協議・実践を積み重ねている。 子供の学びはつながっているからこそ 校種を超えて互いのよさを補完し合うことが、 資質・能力の育成に効果的。

新たな校種間連携のあり方への示唆

迷いが生じたり、 しぼんでいきそうになったりしたとき やはり、**「育てたい資質・能力にこだわって」** ということが **軌道修正の鍵**となります。

社会が変化していく中で、未来を生き抜き、 生き合っていく子供たちのことを考えると 教師も現状のままではいられない

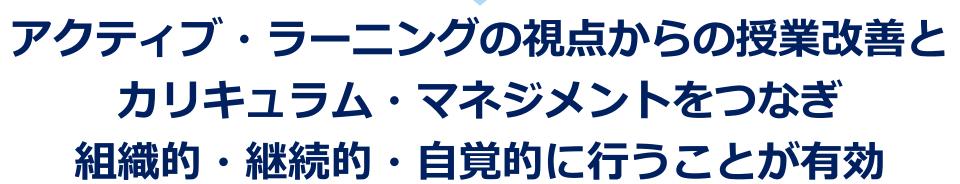


いつでも子供の姿で検証することが大切

- →育てたい資質・能力は身に付いたのか
- →そのために何が有効だったのか
- →改善点があるとすると、どのように改善する ことで、資質・能力が身に付くのか

いつでも子供の姿で検証することが大切

- →育てたい資質・能力は身に付いたのか
- →そのために何が有効だったのか
- →改善点があるとすると、どのように改善する ことで、資質・能力が身に付くのか



次世代教育推進センター ホームページ

新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト(次世代型教育推進センター)

ホーム プロジェクト概要 授業実践事例 研修プラン等 セミナー 都道府県等の特集サイト アクセス





次世代型教育推進センターでは、次期学習指導要領のポイントである「主体的・対話的で深い学び (アクティブ・フーニング) 」について、<u>プロジェクト研究</u>を行い、授業実践事例や研修プランなどを紹介しています。

また、当センターは、平成29年4月1日より、独立行政法人教職員支援機構のセンターとして再スタートしました。

○研修プログラムTデル案 ○プロジェクト概要(ポンチ絵、PDF)



実践フィールド校 アドバイザリーボード 等



アクティブ・ラーニング 授業実践事例 ▶



アクティブ・ラーニング 研修プラン等 ▶

三つの学びの関連図 等



~アクフィブ・ラーニング について考える~



アクティブ・ラーニング 都道府県等の 特集サイト



次世代教育推進センター

Q 検索

◇ホームページにおける成果公表

http://www.nits.go.jp/jisedai/achievement/jirei/

「授業実践事例」の公表

*主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいる「授業実践事例」を紹介

8.... 授業実践事例

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改 実践事例を紹介します。

ピクトグラムについて

- 当センターでは主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の質問 を<u>ピクトグラム</u>でイメージ化しています。
- 各実践事例のピクトグラムは、その授業で実現された主な姿を表している。
- 本単元、本時におけるすべての姿を表現したものではありません。



数据器 突跃事例 **寿例の違いについて、税益を持っては 授業改善のアプローチ** A 145 小学校 1年 BISH 書語で正確に理解し、適切に表現する 小学校 アサカオの感化や成長を含む、関心を 小学校

学校名:由利本荘市立西目中学校 教科等: 3年社会科(平成29年6月)

単元名:第2章 個人の尊重と日本国憲法

2節 人権と共生社会

共生社会とわたしたち

社会的な問題の原因や現状を踏まえ、克服した ための策を多面的・多角的に考察する力を育成





自分と結び付ける 上 互いの考えを比較する



実践の背景

- 実践校は「立志の学校」です。高い志を持ち、将来に渡って力強く生き しています。また、コミュニティ・スクールとして、地域とともに学校
- 開発実践フィールド校として、全職員でアクティブ・ラーニングの視点 を、県教育委員会・市教育委員会・県総合教育センターと連携し、推送 ます。
- 学校で育てたい資質・能力を全職員で話し合い、それに向けて各教科で を日常化シートに教師の手立てと子供の変容について記入し、共有、

本単元では、日本国憲法の基本的人権の尊重を中心に、人権についての 図と物がつけながら、立式の根拠を対 は基本的人権として学習した平等権、社会権、参政権などを基盤として、 り、法に基づいて政治を進めることが基本的人権の保障につながることを: 際に留意したことは、基本的人権について、それぞれの権利を個別ばらば 知識の獲得で終わってしまうということです。そこで、既習の基本的人権(

授業場面より

①学習の見通しを持つ



教師は、社会的不平等に関する世論調査の結果 を提示し、生徒が、既習の基本的人権の各権利の 視点から考えることができるように話合いをコー ディネイトしていきます。また、生徒に事前に実 施した社会的不平等に関するアンケートを提示 し、その結果も世論調査と比較して考えられるよ ③解決策や改善策を出し、練り合う



、て老えたことについて解決策や改善策を

②複数の資料を活用し、問題点を見い出す



複数の資料を活用し、問題点を見い出す」 す。教師は、身近な地域の環境に基本的人 障が反映されたり、実現されたりしているの ついて考察することができる資料を準備する れた、生徒が自由に老えを交流できるよう! ④学びを振り返る



◇ホームページにおける成果公表

http://www.nits.go.jp/jisedai/achievement/kensyu/index.html

- ○「研修実践事例」の公表
 - *主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組むための「研修実践事例」を紹介

&#A 研修実践事例

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組むための「研修実践事例」を紹介します。

| No | 対象 | タイトル | 時間 (分) | 55根 | ベージ |
|----|----|--|---------------|--|------|
| 1 | 松内 | 「深い理解」に至 3通灯を共有する 接受研究会 | 45 | 「夢中になって学ぶ年途の後」に集点を当てて 接風を御観した後、外的な統論性だけに偏るこ となく、内的な範疇性にも出版し、歩行ジール 「マンダフチャート」を使って程質が新をする 研究会です。 | 群語 |
| 2 | 校内 | 映像を使って生徒 が学ぶとの関係 手立てる関係を 分析する研修 | 50 | タブレットで撮影した複変動画を用い、生徒の 学ぶ者と数部の子立てとの機道を分析すること で成業(Good)と課題・改善等(Piore)を明 らかにし、日本の機温改善につなかる視点を共 有する情報です。 | B¥#B |
| 3 | 校内 | ユニット (小集 図) 研修で機動力 を持つた疫質研究 | 50 | 中学校や高等学校では、全数数目が一つに公司する数例和がからない。 を放り、またいでは、全数数目があっていいのでは、 で、日本では、ないでは、またいでは、 を改まっている。 で、日本では、のの方は、のの方は、では、 で、日本では、のの方は、のの方は、のの方は、では、 で、日本では、のの方は、のの方は、では、 で、日本では、のの方は、のの方は、では、 のでは、のの方は、では、 のでは、のの方は、では、 のでは、では、 のでは、では、 のでは、では、 のでは、では、 のでは | 详相 |

由利本荘市立西目中学校(平成28年10月)

教科を横断して生徒の資質・能力の育成に向かう校内研修

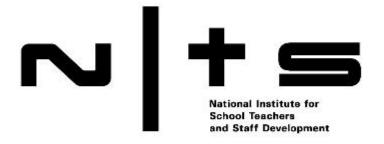
各教科の日常の取組(生徒の姿、教師の手立て)を記録した日常化シートや複数の研究授業の生徒の姿を全 職員で分析することで、教科を横断して生徒の資質・能力の育成に向かう研修です。

I 実施背景と目的

- 実施校は「立志の学校」です。高い志を持ち、将来に渡って力強く生き抜く人間を育てることを理念としています。また、コミュニティ・スクールとして、地域とともに学校づくりを進めています。
- 実践フィールド校として、全職員でアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に取り組む過程を、 県教育委員会・市教育委員会・県総合教育センターと連携し、推進地域に公開をしながら進めています。
- 育てたい資質・能力を全職員で話し合い、それに向けて各教科で具体的な取組を積み重ね、取組を日常 化シートに教師の手立てと生徒の変容について記入し、共有、検証しながら研究を進めています。

アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ

独立行政法人教職員支援機構 研修協力員/研修プロデューサー 稲岡 寛



独立行政法人教職員支援機構